

「市民協働でまちづくりを」

合併して1年9ヶ月になりますが、市の財政状況は変わらず厳しい。合併当初から財政再建が最大の課題でした。事務事業の見直し、サービスと負担の見直し、職員給与手当の見直し、公共施設の統廃合等で経費の削減に努めています。

でも、国の財政改革がこれほど地方財政を圧迫するとは、予想を越えるものでした。6月の全国市長会総会は、「過疎地にこれ以上金をかけてもムダ金だ」といった民間委員の話も伝えられ、「国は地方を切り捨てるのか」「政府は地方の実態がわかっていない」との熱い議論が交わされた。され、「地方財政危機突破総決起大会」のようにした。



七尾市長 武元 平

国には、今後も要望は続けていきませんが、国をあてにしている七尾市の存続や将来性は明るくないと思いた。今、財政再建を進めなければ、子や孫に借金を残すだけでなく、七尾市のまちづくりが進みません。

市民からの要望には、どれも応えていきたいのですが、あれも、これも、ということとはとても不可能です。将来のためにどうしても必要なもの、生命や安全、安心にかかわることなどを優先し、あれか、これか、を選択していかねばなりません。この選択の仕方によって財政再建が進み、同時に新しいまちづくりが進みます。市民協働を進めるしかありません。でも、協働のための環境づくりや、仕組みはまだまだです。市民と行政との意見や情報の交換もまだまだ不十分です。市民意見を政策づくりの過程にどのように組み込むかが課題です。一つの方法として、各地区に「まちづくり協議会」(仮称)を設けて、地区毎に協働を進める方法はどうでしょうか。

「自分たちのまちは、自分たちでつくる」協働の仕組みづくりを進めたいと思います。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

8月8日(火) 15:00～17:00

会場 本庁 男女参画まちづくり課

※公務により、中止になる場合があります。

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課

53-1112

※お申し込みは1週間前までにお願しいたします。また、お申し込み多数の場合は、抽選になります。

国際交流コラム

ありがとうございます。

七尾市国際交流員

Forbes Mason
Fergus Mason
Michiko Tsukakara
ミチコ・ツカハラ



3年前、七尾市について何も知らなかった私が、今は、無意識に七尾の良さと魅力を入に勧めています。

いろいろな楽しい経験、市民のみなさまとの出会い、子どもたちとのふれあい、祭に参加、イベントを企画実行、みなさまと一緒に七尾市で生活した3年間は私の中でとても大きな財産となりました。何よりもみなさまの優しさ、七尾に来て良かった」と強く思っています。楽しく思い出深い3年間をありがとうございました。是非、近いうちに七尾市へ来ようと思っていますので、その時はよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。



「能登は土まで優しい。」初めて中島町に一歩踏み入れたとき、教えてもらった名言です。

それからあつという間に2年間が過ぎ、たくさんの方との出会い仲良くしてもらいました。その人たちの優しさに対し、心の底から感謝しています。みなさまには一生に一度の貴重な経験を頂き、素敵な思い出を抱えながら口へ帰ります。将来また、七尾に足を運べる日を楽しみにしています。みなさま、2年間お世話になりました。ありがとうございました。I hope to see you again some day.